

1 コレクション展示コーナー

本学が所蔵する美術、工芸、デザインに関する作品や資料約6,700点及び学生買上作品約1,200点を特別展や企画展を通じてさまざまな切り口でご紹介していきます。

＝＝＝＝＝＝ [展覧会スケジュール] ＝＝＝＝＝＝

「収蔵作品展－近現代の絵画・彫刻－」

4月8日(金)～5月27日(金)

本学の所蔵品の中から、近現代の絵画・彫刻の優品を展示いたします。あわせて、令和3年度に新たに寄贈を受けた彫刻作品もご紹介いたします。



木村忠太「カンナの夕暮れ」1974年

「卒業・修了制作買上作品セレクション2022」

6月13日(月)～7月29日(金)

本学では、卒業・修了制作と論文の中から優秀な作品を選考して購入する買上制度を通じて、開学間もない昭和24年以来、約1,200点に及ぶ作品を収集してきました。近年買上となった作品の中から約20点を取りあげてご紹介いたします。



金保洋「積彩の生成 2019-I」2019年

「平成の百工比照－令和時代の収集と展開－」

10月3日(月)～12月23日(金)

平成21年度から本学が金沢市と共同で着手した「平成の百工比照」収集作成事業では、現在も資料の収集を継続するとともに、国内外への情報発信のためにさまざまな取り組みをおこなっています。本展では令和元年度以降に収集した資料を展示公開するとともに、英語字幕を付した工芸技術記録映像や、本学と国立民族学博物館との連携協定にもとづき制作された「平成の百工比照」コレクションデータベース及び高等教育映像をご紹介します。

2 平成の百工比照 展示・閲覧コーナー

～全国の産地から収集した現代工芸資料の一大標本～

金工、染織、漆工、陶磁の分野ごとに、技法、工程、材料に関わる見本や道具類、完成した製品など約5,900点が収蔵箱に納められており、好きな資料を棚から自由に取出してご覧いただけます。また、工芸技法を超高精細の4K画質で記録した映像もお楽しみいただけます。

○陶磁(2,300点)*



- ・各種釉薬の色見本
- ・九谷焼描画彩色技法見本
- ・大堀相馬焼(福島)、丹波焼(兵庫)、萩焼(山口)、高取焼(福岡)、壺屋焼(沖縄)ほか全国28産地の製品見本

○金工(1,800点)*

- ・重ね象嵌、空目金、真土型等各種工程見本
- ・銅合金着色、セラミック電着塗装ほか各種着色見本
- ・南部鉄器(岩手)、燕三条(新潟)、高岡銅器(富山)ほか各産地の製品見本



※点数は令和3年3月時点

○漆工(1,200点)*



- ・会津塗(福島)、輪島塗・山中漆器(石川)、香川漆器(香川)、琉球漆器(沖縄)ほか技法・工程見本
- ・粉見本・道具見本
- ・津軽塗(青森)から琉球漆器(沖縄)の全国18産地の製品見本

- ・津軽こざん(青森)、ぜんまい白鳥織(秋田)、能登上布・手描友禅(石川)、琉球びんがた(沖縄)ほか全国40以上の産地の製品見本や工程見本
- ・伊勢型紙(三重)見本



photo: Mitsu Tsutomu

開室カレンダー

※2022年8、9月及び2023年1、2、3月は開場いたしません。
都合により開室日程を変更する場合があります。

●：10時～17時

4	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28	29	30	

5	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		

6	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30			

7	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30			

8	日	月	火	水	木	金	土
							1
2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31		